

組
池元聖吹くん 井上流駆くん 白井一貴くん
岡本悠来くん 落合楓くん 門田大広くん
河合風詩くん 川嶋龍河くん 小岸義幸くん

水車と風車 両方つくりました!

「水車を作ろう!!」という誰かの一言に皆が賛同し、水車を製作することが決まった。だが、



ベニヤ板をジグソーで円形に切り取り、側面の板にした。羽根には雨どいを使用した。土台に

3年間で資格取得一覧

	1年	2年	3年	合計	
計算技術検定	4級	1	2	10	13
	3級	20	10	42	72
	2級		1	1	2
	1級			1	1
情報技術検定	3級	96	2		98
	2級	10	7	3	20
危険物取扱者	丙種	37	4	1	42
	乙種第1類		5	1	6
	乙種第2類		4		4
	乙種第3類		4	1	5
	乙種第4類	5	12	3	20
	乙種第5類		3	1	4
電気工事士	第二種		19	6	25
	3級		1	3	4
実用英語技能検定	準2級			2	2
	2級			1	1
日本漢字能力検定	3級	10	1	10	21
	準2級	1		5	6
初級CAD検定				5	5
製図検定	機械			16	16
トレース技能検定	4級	74			74
技能士三級	機械検査	1		5	6
	機械保全		2		2
	旋盤作業	1	1		2
	電子機器組立			1	1
技能士二級	旋盤作業	1	1		2
	ガス溶接			41	41
技能講習	フォークリフト運転			42	42
	小型車両系建設機械運転			10	10
	ポリマー取扱		24		24
無線技士	3級陸上特殊			19	19
玉掛け				8	8
色彩検定	3級		1		1



あつという間に卒業
三年五組 奥村真士

時間が過ぎるのは早いもので、気づけば卒業は目の前まで迫っていました。高校入学直後は、慣れない環境に戸惑う事も多くありましたが、これからは、企業に就職することになります。今まで以上に未経験の出来事に溢れた毎日になるだろうと期待と不安でいっぱいでした。

「企業は、休みの多い人間を必要としない」これは、私が高校一年生の時に聞いた、今も忘れられない言葉です。

企業で働くことは不安ですが、八工で培った自分を律する力を忘れず、真面目に頑張りたいと思います。三年間有難うございました。

こんなにできました!
考査...そして完成へ

九人で水車ひとつでは寂しいという意見が出た。そこで、風車の製作にも乗り出し、二つの班に分かれて作業を開始した。水車班は、設計図を書き、紙で模型を作った。風車班は、紙で模型を作った。風車班は、鋼のL型アンゲルを溶接し、直方体の骨組みを作った。直角にすることが難しく、苦勞した。水車の軸にハブダイナモを取り付けて発電を行い、川で実験し、LEDを点灯させることに成功した。

風車班は、回転による摩擦を減らすためベアリングを使用し、その軸受けを旋盤で製作した。

組
清水敦貴くん 新道開斗くん 鈴木康生くん
龍野統也くん 寺本 彪くん 西沢遼太くん 西堀 風くん
野村康真人くん

実用性満点の台車完成!

研究当初は、大八車を製作する予定だったが、材料が集まらないなどの理由や金銭的な問題により、運搬用台車を製作することに決まった。台車にした理由は、荷物と一緒に、みんなに

精度を出すため、慎重に作業を行った。羽根は雨どい、その他はアルミを使用することにより軽量化を図った。工夫を凝らした成果が出たのか、少し強めの風が吹けば、風車を回すことができた。今回の研究を通して、自分の理想を目指し、妥協せず、工夫を凝らすことが大切だと感じた。

たくさんの方の幸せを運びたいという意味も込められている。一番苦勞したことは、台車の骨組みを作っていく作業だった。廃材をかき集め、ガス溶接などで骨組みを組み立てていった。しかし、なかなか綺麗な溶接ができず、何度もやり直した。さらに性能の良い物を作ろうと、持ち手を折り畳んで収納をしやすいするための機構を取り入れた。この折りたたみ機構の設計にも、非常に苦勞した。

完成した台車は、とても安定感のある良い物ができた。準備期間を含め約十カ月間、苦勞の連続であったが、感動が大きかった。

クラス替えで六組の一員となり、「これからまだまだ長いな」と思っていたが、学校生活が、「もう卒業かあ早かったな」と思うようになっていました。

私たちのクラスは、個性豊かで笑顔あふれる人ばかりでした。授業中は静か過ぎる時もありましたが、盛り上がる時は大いに盛り上がるクラスでした。体育祭では、団全体を引っ張ってくれる人や、盛り上げてくれる人により、

こともあった就職試験など、日頃からクラスの皆が居てくれました。誰かが辛い時には支え、クラス全体で乗り切ることができました。これまでの三年間は、六組の仲間たちが居たからこそ、思い出ばかりの学校生活を送れたのだと思います。

これからの進路は環境化学科・八工での学びを生かして進んでいきたいです。最後に先生方や家族、クラスの皆本当にありがとうございました。

唯一無二の仲間
三年六組 森 充信



当日には黄団の団結した姿が見られました。だからこそ六組の団らしい競技やパフォーマンスとなり、団旗も優勝することができました。

楽しかった修学旅行や八工旅行思い通りにはいかないこともあったが、八工での学びを生かして進んでいきたいです。最後に先生方や家族、クラスの皆本当にありがとうございました。



課題研究を通して、梅本先生にたくさん叱られたこともありますが、それは大きな愛情だったと気がきました。後輩のみんなには、たくさん悩んで自分達の目標を達成してほしい。



次にクラスの思い出は、体育祭のパフォーマンスで一位を取れたことです。七組は、他のクラスよりも圧倒的に人数が少なく、ダンスを教えたりするときも大変でした。ですが、人数が少ない分、一人一人がしっかりと働きました。やるべきはしっかりとやるどころが七組のよいところだと思っています。そして、結果を出すことができるのも七組の強さです。

このように良い思い出がたくさんできたのは、八幡工業に来たからだだと思います。三年間本当にありがとうございました。



八工での集大成
三年七組 出野 開人

八工の三年間の中で、三年生の時が一番充実して嬉しかった。まず部活動では、二年生で挑んだ花園で取れなかった白星を、今年しっかりと取れたこと。本当に嬉しいことでした。さらに最終的にはもう一

勝をあげて、ベスト16で大会を終えることができました。他にも、近畿大会ベスト8やセブンスベスト10など良い結果を多く残せました。ラグビー部員として、充実した一年だったと思います。